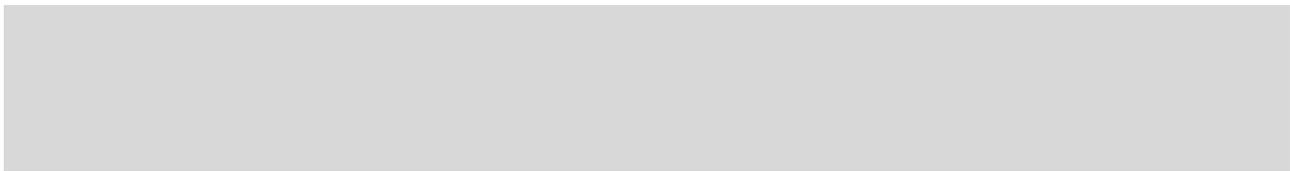




守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校の
統合に関する第四次提言書

平成26年3月

守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校
統合校連絡会



目次

I 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校の統合に関する第四次提言書の趣旨	1
II 校歌に入れたい言葉・フレーズの募集	1
III 校歌に入れたい言葉・フレーズの募集選定	2
IV 第三次提言以降の活動状況	8
V おわりに	9
■ 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会について	10

I. 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校の統合に関する第四次提言書の趣旨

守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会（以下、本連絡会）では、平成24年7月の設立以降、守口市教育委員会に対して新設小中一貫校の施設整備への要望等をまとめた第一次提言書を同年12月に提出し、校名候補についての要望をまとめた第二次提言書を平成25年4月に提出し、校章候補についての要望をまとめた第三次提言書を同年10月に提出致しました。

本連絡会では、統合小学校の校名及び(仮称)さつき学園の校章が決定したことを受け、校歌に関して、統合校区内の在住者、卒業生及び教職員を対象に校歌に入れたい言葉・フレーズの公募を行い、応募いただいた言葉・フレーズについて検討・協議を行いました。

本文書は、これまでの検討・協議を踏まえ、校歌に入れたい言葉・フレーズについて、本連絡会としての要望をとりまとめたものです。これを第四次提言という形で、守口市教育委員会へ提出致します。

II. 校歌に入れたい言葉・フレーズの募集

本連絡会では、小中一貫校の校歌の作成方法について検討し、多くの人の思いを反映することができるよう校歌に入れたい言葉・フレーズを募集し、選考された言葉・フレーズを基に専門家に作詞・作曲を依頼することとしました。

また、募集対象としては、第三中学校校区在住者、卒業生及び教職員として募集要項を定め、平成25年12月20日～平成26年1月21日の期間で募集を行いました。特に児童・生徒にも積極的に応募してもらいたいとの考えから、第三中学校校区に通学する児童・生徒へ応募用紙を配布しました。

1. 校歌に入れたい言葉・フレーズの募集要項

次のように募集要項を定め、校歌に入れたい言葉・フレーズを募集しました。

募集要項	募集内容	小中一貫校「(仮称)さつき学園」(平成28年4月開校予定)の校歌に入れたい言葉・フレーズ 〔平成26年度から「さつき小学校」(滝井小と春日小の統合校)の校歌として使用します。平成28年度から第三中学校が新しい学校名となり、小中一貫校「(仮称)さつき学園」の校歌(学園歌)として使用します。〕		
	募集期間	平成25年12月20日から平成26年1月21日まで (必着)		
	応募資格	三中学校区(滝井、春日地区)の小・中学生、保護者、地域住民、卒業生、教職員		
	募集方法	応募用紙	応募用紙は下記の配布・回収場所に備えてあります。 また、守口市教育委員会のホームページからもダウンロードできます。	
		応募方法	専用の応募用紙又はA4判白色の用紙を使用し、次の事項を記入して応募してください。	
			①校歌に入れたい言葉・フレーズ ②言葉やフレーズを選んだ理由 ③住所・氏名・電話番号	
			□郵送の場合 〒570-8666 守口市京阪本通2丁目2番5号 守口市教育委員会事務局 学校規模適正化PT □直接提出の場合 応募用紙を備え付けている下記の配布・回収場所へご提出下さい。	
	配布・回収場所	滝井小学校	春日小学校	第三中学校
		西部公民館	三郷公民館	守口市教育委員会 学校規模適正化PT
	選考方法	応募された言葉・フレーズをもとに統合校連絡会で選考し、専門家が作詞・作曲を行う際の参考とさせていただきます。		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉・フレーズはいくつ書いても結構です。 ・言葉・フレーズを選んだ理由も必ず記入して下さい。 ・小中一貫校として1つの校歌(学園歌)を使用します。 ・A4判白色の用紙を使用される場合は、言葉・フレーズと選んだ理由・住所・氏名・電話番号を記入してください。 ・提出された応募用紙は、返却しません。 ・個人情報については、この目的以外には使用しません。 			
問合先(事務局)	〒570-8666 守口市京阪本通2丁目2番5号 守口市教育委員会事務局 学校規模適正化PT 電話:06-6998-3338 FAX:06-6995-2505			

2. 校歌に入れたい言葉・フレーズの募集結果

募集の結果、総数118点の応募があり、応募資格に該当しなかった17点を除く、101点の言葉・フレーズが選考の対象となりました。

Ⅲ. 校歌に入れたい言葉・フレーズの選考

本連絡会では、応募のあった言葉・フレーズについて次のとおり選考を行い、校歌に入れたい言葉・フレーズを決定致しました。

1. 選考の過程

校歌に入れたい言葉・フレーズの選考については、応募資格を満たさない作品を除外し、全応募作品について慎重に選考を行いました。応募作品について意見交換を行った後、校歌に相応しくないものや各校の歌詞に由来するものについて消去することで、言葉・フレーズを選考しました。

2. 校歌に入れたい言葉・フレーズの決定

前述のとおり、本連絡会では、第三中学校校区在住者、卒業生及び教職員から応募のあった校歌に入れたい言葉・フレーズについて慎重に検討・協議を重ね、以下のとおり校歌に入れたい言葉・フレーズを決定しました。

なお、作詞・作曲を依頼する専門家については、作詞については元春日小学校の職員であった児童文学作家の高丸もと子さん、作曲については数多くの校歌の作曲手がけている作曲家の橋本祥路さん、作詞・作曲について閉校コンサート等で来校されたヒューマンノートの寺尾仁志さんの名前が挙がりました。

(仮称)さつき学園 校歌に入れたい言葉・フレーズ

No.	言葉・フレーズ	応募者が左記言葉・フレーズを選んだ理由
1	ああ さつきの この誇	春日小学校、第三中学校に通っていました。あの頃、りっぱな先生やよい友達に恵まれていた事を思い出しながら空を見上げていたら浮かんできた言葉です。
2	青い地球	日本に限らず世界で活躍できる人になってほしいから。
3	青空	-
4	明日に向かって	明日に向かって行動、チャレンジする気持が大切だから。
5	いきる	すごくいいことばだから

6	行く。	-
7	いこま	滝井小学校の校歌、春日小学校の校歌、第三中学校の校歌全部に入っているから。
8	生駒	むかしから入っていることばだから。
9	生駒	近くて、なじみがあるから。
10	いこまの山	どの校歌にもいこまの山があるから。
11	生駒の山	大阪の人だけではなく、日本人なら誰でも知ることだから。自らが育つ地に愛情を持ってほしいから。
12	生駒山	生駒山をいつもながめながら生活をし、近くを流れる淀川を抜きにしては、さつき学園の地域性が言い表せないと思いました。
13	宇宙のかなたに	大きい広い心の持ち主になってほしい
14	大いなる	器の大きい人になってほしいから
15	大阪平野	大阪の人だけではなく、日本人なら誰でも知ることだから。自らが育つ地に愛情を持ってほしいから。
16	大空	すごくいいことばだから
17	お日さま	学校に明るくなってほしいから
18	風	ここのまわりは、風が強いから。
19	川	めぐみの源
20	きずな	きずなは、滝井小と春日小と第三中のきずながあわさるといいことがおきるかもしれないから。
21	絆(きずな)	お互いが一丸となって行動する事が大切だから
22	希望	自分が、人が、学校が、これからよりよい状態になる様期待する。

23	希望	未来への思い
24	郷土	郷土愛が大切だから
25	きれいなまち	きれいなまちだから
26	雲がはれ	本当に雲がはれるから。
27	元気	みんなあかるい太陽みたいな元気なみんながいいなと思ってこめました。
28	元気	こういう人になってほしいから。
29	こころ	すごくいいことばだから
30	心	大切に育てていってほしい
31	心	-
32	心	みんなに心をみらいにとどける
33	心やさしい	心やさしくそだってほしいから。
34	心豊かに	このように生きてほしいから。
35	子ども	-
36	さつき	さつきだからです。
37	さつき	学校名だから。
38	さつきの花	さつきの花をえらんだりゆうはさつきはきれいから。
39	さつきのはながさく	さつきにはながひらいてほしいからです。

40	信じる	真偽を見分ける力をつける
41	親友	みんなとなかよくできるように
42	すがすがしく	このようにいきてほしいから。
43	すすむ	もっと明るいみらいに行けるから
44	すすむ	がんばってすすむというさつき小にぴったりだから
45	世界	日本に限らず世界で活躍できる人になってほしいから。
46	そだつ	すごくいいことばだから
47	そだつ	どんどん大きくなるから
48	育て若人よ	若人が学び、友情を高める事が大切だから
49	そびえる	常に高い次元を求める事が大事だから
50	そよそよ	学校の校歌にぴったりの歌詞だから。
51	空高く	上へ上へとこのびていくイメージ
52	たいよう	みんなあかるい太陽みたいな元気なみんながいいなて思ってこめました。
53	たのしい学校	たのしい学校がいいから
54	たのしいさつき	さつき小を楽しくしたい
55	たのしいまち	たのしいまちだから
56	たのしく	みんなやさしく友だちいっぱい

57	たのしく	いつまでも元気すごすから
58	大地	めぐみの源
59	つながり	子どもと親と先生と地域が共に一緒に助け合っているイメージで。
60	時	時がたつということばは、いいことです。なのでぜったいこうかいい れたいからです
61	友だち	みんなやさしく友だちいっぱい
62	ともに学び、ともに育ち	お互いに学び育つ事が必要だから
63	なかよく	みんなでなかよくしたいから
64	花は咲く	学校に庭にいろんな花を咲かそう
65	羽ばたく	若人の夢よ現実のものになる様思いを込める
66	春	入学しきとか、おめでたい年だから。それさくらやいろんな草花がさ くから
67	はれやかに	心はいつもさっぱりとしている事が大切だから
68	べん強	学校は勉強だから
69	みらい	みんなに心をみらいにとどける
70	未来	未来へ向って明るくつき進んでほしいから。
71	未来に向って	未来を見つめ行動する事が大切だから
72	みんな	みんなあかるい太陽みたいな元気なみんながいいなて思ってこめ ました。
73	みんな友だち	みんなをともだちにしたいから

74	守口	守口に住んでいるから。
75	やさしい	他人を思いやる気持ちを大切に
76	やさしい	-
77	やさしいかぜ	-
78	やさしい風	-
79	やさしい風	きもちいいところにいるみたいだから
80	やさしく	みんなやさしく友だちいっぱい
81	やさしさわすれずに	-
82	ゆうき	ゆうきは、みんながゆうきを出したら、1つの大きなパワーになるはずだから。
83	勇気	積極的に行動する気力が必要だから
84	友情	友人として相手を思いやり、仲良い友だち仲間を作ることが大切だから
85	ゆめ	きもちよさそうだから
86	夢	未来に向かって夢を持つことが大切だから
87	夢	夢をあきらめずに追いかけてほしいから
88	淀川	生駒山をいつもながめながら生活をし、近くを流れる淀川を抜きにしては、さつき学園の地域性が言い表せないと思いました。
89	淀川	大阪の人だけではなく、日本人なら誰でも知ることだから。自らが育つ地に愛情を持ってほしいから。
90	淀川	むかしから入っていることばだから。

91	淀川	近くて、なじみがあるから。
92	よどのながれ	-
93	歴史うけつぐ	古きよき伝統を次代にうけつぐ

3. 校歌の作成に当たっての委員からの主な意見

- ・小中一貫校として、一つの校歌を作成する。
- ・応募資格は、第三中学校校区在住者、卒業生及び教職員とする。
- ・児童・生徒にも積極的に応募してもらいたい。
- ・専門家は、教育委員会におまかせでもよい。
- ・募集要項の文面を分かりやすい表記にするとよい。
- ・今回選考した言葉・フレーズについては、作詞の中で必ず使用するのではなく、参考にしてもらえればよい。
- ・滝井小学校・春日小学校・第三中学校で使用されている歌詞は使わない方がよい。
- ・この三校にゆかりのある方に依頼できるとよい。
- ・作詞については、元春日小学校の教員である児童文学作家の高丸もと子さんに依頼してはどうか。
- ・高丸もと子さんの詩は教科書にも掲載されていた。
- ・作曲については、数多くの校歌の作曲を手がけている作曲家の橋本祥路さんに依頼してはどうか。
- ・作詞は高丸もと子さん、作曲は橋本祥路さんという曲もある。
- ・閉校コンサート等で来校されたヒューマンノートの寺尾仁志さんに依頼してはどうか。

IV. 第三次提言以降の活動状況

第三次提言以降の活動状況は次の通りです。

活動内容	開催日	概要
第三次提言書の提出	H25年10月29日	・教育委員会に提出
第15回統合校連絡会	H25年12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次提言書提出について報告 ・校歌の作成方法について検討 ・校章原案作成者への贈呈式について検討 ・さつき小学校に設置する校名銘板について報告 ・(仮称)さつき学園の校旗作成について報告

連絡会だより（第10号）発行・HP掲載	H25年12月17日	・学校・保護者・地域の方々に統合校連絡会だより配布、HP掲載（（仮称）さつき学園の校章デザインについて報告）
連絡会だより（第11号）発行・HP掲載	H25年12月19日	・学校・保護者・地域の方々に統合校連絡会だより配布、HP掲載（（仮称）さつき学園の校歌に入れたい言葉・フレーズの募集）
校歌に入れたいフレーズ・言葉の募集（公募）	H25年12月20日 ～H26年1月21日	・統合校区在住者、卒業生及び教職員を対象に実施
第16回統合校連絡会	H26年2月4日	・校歌に入れたい言葉・フレーズの選考
第四次提言書の提出	H26年3月20日	・教育委員会に提出

V. おわりに

これまで16回にわたり統合について検討を行ってまいりました。今後につきましても、学校統合に際し検討すべき事項について関係者の代表として意見をとりまとめ、本連絡会の活動を継続していきたいと考えております。

教育委員会におかれましては、新設小中一貫校の設置にあたり、本連絡会の検討結果を十分に尊重していただき、より良い教育環境となるよう新設校にふさわしい施設整備に努めていただきますよう、よろしく願いいたします。

■守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会について

(1) 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会 会則

(設置)

第1条 守口市立滝井小学校と守口市立春日小学校、守口市立第三中学校の統合を円滑に推進するため、守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校統合校連絡会（以下「統合校連絡会」という。）を設置する。また、その位置づけは、学校統合に際し検討すべき事項について、関係者の代表として意見をとりまとめるための任意組織とする。

(検討事項)

第2条 統合校連絡会は、次に掲げる事項について検討し、守口市教育委員会に提言するものとする。

- (1) 統合校の施設整備に係る事項
- (2) 統合校の学校名、校区等に関する事項
- (3) その他統合に向け検討すべき事項

(組織)

第3条 統合校連絡会の委員は、学校統合に関係する学校及び地域ごとに次の各号に定めるところとする。

- (1) 公民館地区運営委員長及び地域代表 各小学校区
 - (2) 小中学校管理職
 - (3) P T A会長等小中学校保護者代表
- 2 委員の任期は、第2条の提言をするまでとする。ただし、選出母体の役員の改選等により交代する場合は、後任者が委員を引き継ぐものとする。
- 3 検討を進めていくうえで必要が生じた場合は、学識者・関係者等の意見を求めることができる。

(会長及び副会長)

第4条 統合校連絡会に会長及び副会長を置く。会長は、統合校連絡会構成員の互選により決定し、副会長は会長が指名した者をもって充てる。

- 2 会長は、統合校連絡会を代表し、運営を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、会長が必要に応じて召集する。会議の議長は、会長が行うものとする。

- 2 会議は、構成員の過半数の出席がなければ開催することは出来ない。

(その他)

第6条 この会則の定めるもののほか、統合校連絡会の運営に関して必要な事項は、委員の協議により定める。

附 則

この会則は、平成24年7月9日から施行する。

(2) 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会 委員名簿 (平成25年度)

◎会長：中村 民江 ○副会長：田口 淑子 大林 芳子

氏 名	区 分
○田口 淑子	校長(第三中)
倉田 庸生	教頭(第三中)
富田 正樹	夜間学級担当教頭(第三中)
小西 大輔	PTA会長(第三中)
中村 文子	PTA副会長(第三中)
○大林 芳子	校長(滝井小)
濱口 和久	教頭(滝井小)
中村 敦子	PTA会長(滝井小)
辻 芳子	PTA副会長(滝井小)
西村 明夫	公民館地区運営委員長(滝井小)
宮本 邦子	公民館地区運営副委員長(滝井小)
竹内 美喜枝	滝井地区福祉委員会委員長(滝井小)
杉本 清	滝井東町会会長(滝井小)
◎中村 民江	校長(春日小)
大森 達也	教頭(春日小)
高山 孝一	PTA会長(春日小)
曾野 尚子	PTA副会長(春日小)
山下 利光	公民館地区運営委員長(春日小)
深江 啓子	公民館地区運営副委員長(春日小)
原田 一宏	公民館地区運営副委員長(春日小)
高橋 誠二	青少年育成指導員会校区長(春日小)